

A-1-1地域産業の競争力強化と地域内経済循環

<2045年の上越市のありたい姿（例）>

- ・労働者が減少する一方で、DX等の取組により市内事業所の生産性が向上し、高い付加価値額を創出している。この付加価値の労働分配が適切になされ、勤労者の実質所得が持続的かつ安定的に増加しており、堅調な個人消費により各種産業が活況をみせている。
- ・上越の地域資源を活かした特産品の開発が積極的に行われ、市の産業全体が「上越」というブランドを市民全体から認知されている。
- ・限りある資源を効率的に利用して環境負荷の少ない社会経済活動が営まれており、2050年脱炭素社会の実現に大きく近づき、地球環境が良好に保たれている。



<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組（団体/市）
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速=DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化=脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策（=方向性）

<現戦略の基本的な考え方>

A-1-1地域産業の競争力強化と地域内経済循環

- ・ 地域産業の一層の競争力強化や地域内経済循環を高め、自立性の高い地域経済を構築します。
- ・ 市内の金融機関・商工団体等と地域産業の支援に向けたネットワークを構築し、協調連携による取組を推進します。
- ・ 市場ニーズを的確に捉え、地場農産物、製品製造技術を始めとした地域資源を利用する新たな上越産品の開発と販路拡大に向けて、地域が一丸となって取組を推進します。
- ・ 雪エネルギーに着目し、農業、製造業、商業など幅広い産業分野へ積極的に普及・展開します。

A-1-4農業の競争力強化と担い手確保

<2045年の上越市のありたい姿（例）>

- ・ 地域の特色や生産者のこだわりをいかした上越らしい農業が確立している。
- ・ 農業経営による安定的な収入が確保され、魅力ある農業への参入者が増加し、担い手が確保されている。
- ・ 地域資源を活用した6次産業化や農商工連携の取組が活発化し、農林水産物の魅力が磨かれ新たな付加価値が生み出されている。



<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組（団体/市）
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速＝DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化＝脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策（＝方向性）

<現戦略の基本的な考え方>

A-1-4 農業の競争力強化と担い手確保

- ・ 農業の競争力強化や担い手確保に向けて、農業関係者又は農業分野以外の当市の様々な団体・機関との連携により、それぞれの特性をいかした地元農産品の利活用促進や、地域資源としての「農」をいかした取組を推進します。

○A-2-1 若者の定着促進と就労支援

<2045年の上越市のありたい姿（例）>

- ・多くの若者が、市内企業に魅力を感じ、地元での就職やU I J ターンの形で就職・定着が図られ、生き生きとやりがいを持って働いている。
- ・子どもたちが職業への興味を持ち、適性や自己についての理解を深め、これからの社会を生き抜くために必要な資質・能力を育成することができている。



<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組（団体/市）
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速=DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化=脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策（=方向性）

<現戦略の基本的な考え方>

○A-2-1 若者の定着促進と就労支援

- ・ 関係団体・機関の連携の下、若者世代の多様な求職ニーズに合った働く場の確保や、仕事先への定着、U I J ターンによる就労促進に向けた事業に取り組みます。
- ・ 若者世代の就職希望が高い情報通信業などの産業を活性化させることで、新たな雇用創出につながる取組を推進します。

○A-2-2 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援

<2045年の上越市のありたい姿（例）>

- ・性別や年齢、障害の有無などに関わらず、事業主の合理的な配慮の下、または起業・創業を通じて、自身の能力に応じて、生き生きとやりがいを持って働いている。
- ・障害のある人もない人も分け隔てなく、地域の中で助け合いと思いやりによりつながり、お互いの存在を認め合いながら、安心して自分らしく活躍している。
- ・シルバー人材センターが地域のニーズに応じて活動し、人材センターの会員が労働力として地域社会の維持に貢献している。

<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組（団体/市）
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速＝DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化＝脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策（＝方向性）

<現戦略の基本的な考え方>

○A-2-2 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援

- ・ 女性や高齢者、障害がある人など誰もが個々の能力をいかしながら働くことのできる雇用環境を整えるため、意識啓発や雇用促進につながる施策に取り組めます。
- ・ 時間や場所などを選ばない多様な働き方の実現に向けて、若者世代等が創業しやすい環境の構築を推進します。